真理の探究シリーズ 2

キリスト教における神 ...

神の性質とは

第 一 版
２ ０ ０ ３

Dr.　ナージー・イブラーヒーム・アルアルファジ著

小山　サフィーヤ　訳

献 呈

真理を誠実に、正直に、広い心で
探し求める人のために。

もくじ

問題提起

1. キリスト教における神の性質とは何か？
2. 神はひとつなのか？それとも三位一体なか？
3. イエスは神と同等か？
4. イエスは神である、もしくは神の一部であるのか？
5. イエスは人の子かそれとも神の子か？
6. では、イエスとは実のところ、いかなる者なのか？
7. あなたの意見はどうだろうか？

注意深く、先入観を持つことなく以下の文を読み、考察していただきたい。

イエスは言った「あなた方は真理を知り，真理はあなた方を自由にするだろう」
（ヨハネによる福音書 / 8章 32節）

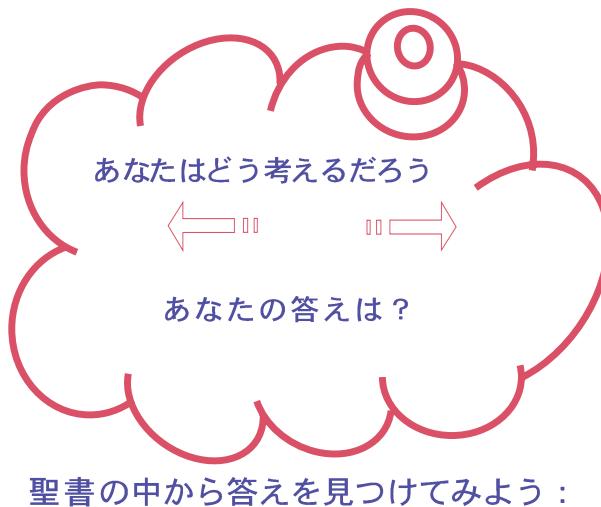
真実を捜し求め、人生を学ばんとする者として長年にわたる考察、調査、比較研究を行ってきた結果私が感じるのは、人というものはしばしば自身の信仰や判断を、イエスが勧めた堅固なる岩の基盤の上というよりはむしろ、弱く不安定な基盤の上に置いている、ということだ。

本書のテーマに関し、私はキリスト教における神の存在について一般に、そして公式に理解されていることと、聖書自体において述べられていることとの間にある、いくつかの大きな違いに気付いた。

この小冊子では、調査、分析および研究という長い旅を通じて私が気付き、そして学んだことについて記し、それらをあなた方に、心から、そして関心をもって、ご紹介したいと思う。

そして、本冊子はただ私が見つけた真実を公正かつ誠実に紹介しようとするものであり、これによって誰をも傷つけるつもりはないということをあらかじめお断りしておこう。

ではまず、キリスト教における神の性質、すなわち三位一体とイエスの神性に関する問題と疑問を取り上げてみたい。

- 神はひとつなのか、それとも三つなのか？
- イエスは神である、もしくは神の一部であるのか？

聖書の中から答えを見つけてみよう：

- *見よ，ある人が彼に近寄って来て言った，「善い先生，永遠の命を得るためには，どんな善いことをしたらよいでしょうか」。イエスは彼に言った，「なぜ，わたしのことを善い*と呼ぶのか。神おひとりのほかに善い者はいない。だが，命に入りたいなら，おきてを守りなさい」。*(マタイによる福音書 / 19章 16-17節)

---

* *「なぜ、わたしのことを善いと呼ぶのか。」*この言葉は一部の聖書には含まれていない。これは欽定訳聖書にある。ともあれ、私の言うことを鵜呑みにせず、ご自分の聖書で確認していただきたい。

ここで、この節についていくつかの疑問が出てくる。まず直感的に頭に浮かぶものといえば、以下の節が挙げられるだろう。

- *「なぜ、わたしのことを善いと呼ぶのか。」*：イエスは自分の善性をなぜ問うたのだろうか？
- イエスは強調して述べた。*「神おひとりのほかに善い者はいない。」*と。 では、なぜ彼は唯一なる神を、「善い者」とのみ呼んだのだろうか？
- 彼が神であるとするならば、なぜ彼は自分を善い者から除外したのだろうか？
- *「だが、命に入りたいなら、おきてを守りなさい」*とイエスは明白に示した。では、なぜイエスは永遠の生命に入るために彼(イエス)を神として信仰するようにと、尋ねた者に対して命じなかったのか？

➢ イエスの証言に基づくならば、永遠の生命を得るためには、神の命令に従うことで十分ではないということだろうか？

さて、ここで、欽定訳に記されているマタイによる福音書（19章16-17節）と、新国際訳聖書に記されている同じ節とを、再読してみることにしよう。

- *見よ、ある人が彼に近寄って来て言った,「善い先生，永遠の命を得るためには，どんな善いことをしたらよいでしょうか」イエスは彼に言った，「なぜ,わたしのことを善いと呼ぶのか，神おひとりのほかに善い者はいない。*

（欽定訳）

- *すると、ひとりの人がイエスに近寄ってきて言った、「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。」イエスは言われた、「なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい。」*

（新国際訳）

比較を容易にするため、イエスによる二つの異なる問いを取り上げてみたい。

欽定訳（KJV）によると、イエスはこのように質問している。

- なぜ、わたしのことを善いと呼ぶのか？

しかし、新国際訳（NIV）によると、イエスはこう言った。

- なぜよい事についてわたしに尋ねるのか？

欽定訳および新国際訳にあるイエスの問いを公正に比較してみて欲しい。これらは同じ意味を示しているだろうか？どちらも正しいということはあるのだろうか？

ここで、「イエスは神であるのか？」という重大なる問いに立ち戻ると、私は「もしイエスが神である、もしくは神の一部であるならば、彼の理にかなった返答は、彼が何と呼ばれるのか（つまり「善い先生」と呼ばれること）について是認したことになるのではないか？」と感じるのだ。

正しい推論と素直な論理によれば、神が善い者であるということになる。そしてもしイエスが神である、もしくは神の一部（三位一体の一部）であるならば、彼が善い者であるということになるはずではないだろうか。

「善い先生」と言った若者に対して、イエスが口にするであろうと思われる返答としては、以下のようなものが挙げられるだろう。

◈ 「確かに、私は善い者である。なぜならば私は神であるから」

◈ 「君は正しい。私は善い者である」

◈ あるいは少なくとも、神である、もしくは神の顕現であると自らが明らかに善い者だと知りながら、イエスはこの問題を言葉では取り上げることはせず、次のように答えたかもしれない。

■ *「命に入りたいなら，おきてを守りなさい」*

しかし驚いたことに、イエスは若者の「善い先生」という言葉に対し、予想外の返答をしたのだった。彼は「なぜ、わたしのことを善いと呼ぶのか？」と不思議がり、自らが善い者であることを否定したのである。

それならば、彼の善性を否定するのではなく、この機会に自身が、神である、もしくは神の一部であるがゆえに、善き者であることを認めるのが、イエスにとってより道理にかなったことではなかっただろうか？なぜ彼は真の神だけに言及し、彼自身が持つ「善い者」としての神性を示さなかったのだろうか？彼は、質問者に自身の真実を隠していたのだろうか？

● *永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。*

（ヨハネによる福音書/17章 3節）

この節の中で、再びイエスは自分自身を唯一真の神と区別しているのだ。この唯一真の神、彼こそがイエスを創造し、彼をつかわされたお方である。それでは、命令を下し、つかわすことの全権を握っているのは誰だということになるか。

それは、唯一真の神であろうか？それともイエスであろうか？命令を下し、送り出す者と、命令を受け送り出される方では、どちらが偉大だろうか？

- *神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。*（テモテへの第一の手紙/2章5節）

　この節は二つの個性を示している。それは、（1）*唯一なる神*と、（2）*ただひとりの仲保者*（イエス）との二者である。イエスは「人」であると形容されており、この節では彼は「神なるキリストイエス」と呼ばれていない。実際のところ、イエスは聖書のどこにおいても神であると呼ばれてはいないのだ。

　更なる議論に進み、「*イエスは神である、もしくは神の一部であるのか？*」という問いに答えるべく、マタイによる福音書4章1-10節で述べられている以下の部分を注意深く、客観的

- *さて、イエスは御霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである。*
- *そして、四十日四十夜、断食をし、そののち空腹になられた。*
- *次に悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその華とを見せて*
- *言った、「もしあなたが、ひれ伏してわたしを拝むなら、これらのものを皆あなたにあげましょう」。*

この節を読んで、
心中になにか疑問や考えが浮
かんだだろうか？

先の節を読んだ際、私の頭に浮かんだ疑問と考えのいくつかを皆さんに紹介しよう。

1)「*イエスは御霊によって荒野に導かれた。...*」と聖書に述べられている。しかし、イエスと御霊とでは、どちらがより権威と力を持っているだろうか。もしイエスが神であるとするならば、なぜ彼は自分で荒野へと至らなかったのか？神は、自身を導いてくれる誰かを必要とするのであろうか？

2)この節の証言によると、悪魔（サタン）は、一部のキリスト教徒が神であるとみなしているところのイエスを誘惑した。ここで、素朴かつ論理的な疑問が湧くはずだ。それは、「神が誘惑されるとでもいうのだろうか？」という問いである。

同じ聖書の中で、神は誘惑され得ないと述べられているにもかかわらず、である。この事実は誘惑についての同じ話の中で、イエス自身が口にしていることである。同様に、イエスの兄弟であるヤコブは次のように言った。

■ *神は悪の誘惑に陥るようなかたではなく、また自ら進んで人を誘惑することもなさらない。*

（ヤコブの手紙 / 1章 13節）

3)「*そして、四十日四十夜、断食をし、そののち(イエスは)空腹になられた。*」と聖書は伝えている。それでは、この節を分析し、共に考えてみよう。

➢ 神は断食をするだろうか？

➢ イエスは誰のために断食をしていたのか？神としての自分自身のためか、それとも自分よりも偉大なる何者かのためだったのだろうか？

➢ 神は空腹やのどの渇きを感じるだろうか？

4)『イエスの誘惑』(いくつかの聖書では、このような見出しがついていることだろう)の話の中で、悪魔(サタン)がイエスを動かし、支配したことを我々は見出す。サタンがそのようなふるまいに出たのは、人としてのイエスに対してであったのだろうか?それとも、神としてのイエスであったのだろうか?では、もし神としてのイエスに悪魔がそのようにふるまったのだとしたら、神は試され、動かされ、支配されたということになるのだろうか?ここで、ヤコブの言葉を思い起こしてみよう。*「神は悪の誘惑に陥るようなかたではなく、...」*

イエスとサタンの会話の終わりに、サタンがイエスに*「ひれ伏してわたしを拝む」*よう求めた時、イエスは悪魔に言った。

■ *『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ 仕えよ』*(マタイによる福音書 / 4章 10節)

思うに、もしイエスが受肉した神であるというのなら、「いやサタン、おまえこそひれ伏しておまえの神であるわたしを拝め」とあっさり答えたかもしれない。しかしその代わりに、彼は真の神のみを崇拝することについての言葉を口にしたのだった。

我々は、この物語より以下のことを知ったことになる:

- サタンはイエスを見た
- サタンはイエスに話し掛けた
- サタンはイエスの声を聞いた
- サタンはイエスを連れて行った
- サタンはイエスに見せた
- サタンはイエスと話をした

(マタイによる福音書 4章 1-10節にある、イエスの誘惑の話全体を読んでいただきたい。)

しかしながら、神を見ることもその声を聞くこともできないと聖書は強調して示している。

■ *人間の中でだれも見た者がなく、見ることもできないかたである。*

(テモテへの第一の手紙 / 6章 16節)

■ *あなたがたは、まだそのみ声を聞いたこともなく、そのみ姿を見たこともない。*

(ヨハネによる福音書 / 5章 37節)

■ *世々の支配者、不朽にして見えざる唯一の神に、世々限りなく、ほまれと栄光とがあるように、アァメン。*

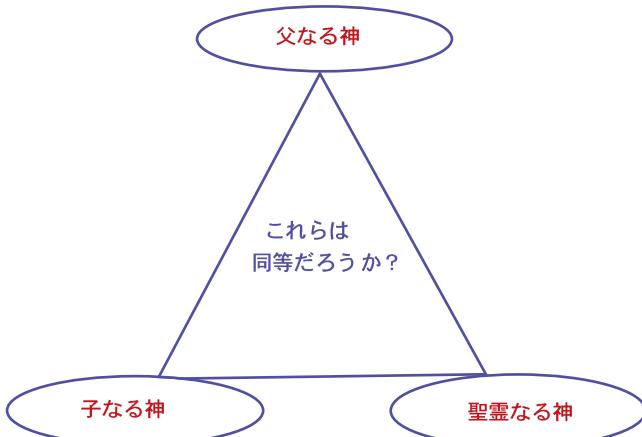
(テモテへの第一の手紙 / 1章 17節)

この問題を終える前に私は尋ねたい。イエスが地上において生きていた間に、彼の家族、人々そして信者は彼を見たり、その声を聞いたりしなかったのだろうか?

先に述べた節における神についての記述によるならば、イエスは神ではありえないことになる。これは正当かつ理にかなっていることなのではないだろうか。それでは、実際のところ、なにが真実なのであろうか?そのことついて、考えてみて欲しい。

❖ 父なる神、子なる神、聖霊なる神は同等か？

❖ 子なる神（イエス）は父なる神と同等か？

❖ 子なる神（イエス）は聖霊なる神と同等か？

イエス自身が何を言ったか見てみよう。

- *父がわたしより大きいかたであるからで ある。*
  (ヨハネによる福音書 / 14章 28節)

- *わたしの父がわたしに下さったものは、すべてにまさるものである。*
  (ヨハネによる福音書 / 10章 29節)

- *「わたしの教はわたし自身の教ではなあく、わたしをつかわされたかたの教である。*
  (ヨハネによる福音書 / 7章 16節)

- *わたしは、自分からは何事もすることができない。ただ聞くままにさばくのである。そして、わたしのこのさばきは正しい。それは、わたしは自分の考えでするのではなく、わたしをつかわされたかたの、み旨を求めているからである。*
  (ヨハネによる福音書 / 5章 30節)

- *その日、その時は、だれも知らない。天にいる御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる。*
  （マルコによる福音書 / 13章 32節）

- *また人の子に対して言い逆らう者は、ゆるされるであろう。しかし、聖霊に対して言い逆らう者は、この世でも、きたるべき世でも、ゆるされることはない。*
  （マタイによる福音書 / 12章 32節）

イエス自身によって語られた数々の言葉とならんで、これらの明確なる言葉を読んだ時、どのように結論付けることができるだろうか。

唯一真の神（父なる神）は自分そして聖霊よりも偉大であり、また自分が教え伝えている事柄は自身の教えではなく、自分も聖霊も最後の審判の日については何も知らず、また自分自身は何をできるわけでもないのだ、というイエスの言葉に基づいた時、誠実なる真実の探求者ならば、イエスが自分自身について語ったことを受け入れるのであって、彼を神であるとか、神に同等な者であるとすることはないであろう。
もうひとつの意義深い問いについて論じることとしよう。

❖イエスは神のひとり子か？

聖書から答えを見出してみることにしよう。

● *アダムは神の子である。*
（ルカによる福音書 /3章38節）

● *イスラエルはわたしの子、わたしの長子である。*
（出エジプト記 /4章22節）

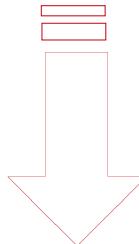
● *主はわたしに言われた、「おまえはわたしの子だ。きょう、わたしはおまえを生んだ。*
（詩篇 /2 篇 7節、欽定訳）

このように、聖書そして父なる神自身によると、ダビデはもうひとりの子である。しかも英語の聖書では特別に大文字のイニシャルで「子（**Son**）」と書かれているのだ。

● *平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。*
（マタイによる福音書 / 5章 9節）

聖書の中で「神の子」という呼称をたどっていくと、「神の子」という呼称は多数あり、イエスは神のひとり子ではないということがわかる。

ここで、聖書では、「正しき、敬虔なる、選ばれた、神を意識している」といった性質を意味するために、「神の子」という呼称が比喩的に用いられている、と結論づけることができる。

このことを通じて、我々は是非問われるべき重大なる疑問に辿り着くのである。

❖ それでは、イエスとは何者であったのだろうか？

神はひとつであり三つではない、イエスは神でも神の一部でもない、彼は神と同等ではない、字義通りの意味において彼は神の子ではない、といった聖書から得られる証について論じるならば、我々はこう問うに違いない。「では、*イエスとは何者であったのか？*」と。

■ 人間イエス

聖書の中で、イエスは「人」あるいは「人の子」として何度も呼ばれている。次に取り上げるのはそのほんの一部である。

● *「イスラエルの人たち，この言葉を聞きなさい！ナザレのイエス，すなわち，あなた方が知っているように，神が彼を通してあなた方の間で行なわれた数々の強力な業と不思議な業としるしとによって，神からあなた方に認証されたこの人を，*
（使徒行伝 / 2章 22節）

以下の言葉は、イエスの非常に親しい友人であると共に、その信者でもあったペテロが語ったものである。彼は、数々の出来事を間近で見ていたのだった。

● *また人の子がきて、食べたり飲んだりしていると、*（マタイによる福音書 / 11章 19節）

● *「この人はほんとうにあの預言者だ」*
（ヨハネによる福音書 / 7章 40節）

● *ところが今、あなた方はわたしを、自分が神から聞いた真理を告げる者を殺そうとしている。*（ヨハネによる福音書 / 8章 40節、欽定訳、多くの聖書にはこの事実が示されていない。お手元の聖書で確認していただきたい。）

イエスは、自身の命が危機にさらされたその時、自分が「人間」であることを証言している。では、なぜ彼ははっきりと率直にこう言わなかったのであろうか？

「ところが今、この私、真理をあなたがたに語ってきた受肉した神を、あなたがたは殺そうとしている。」と。はたして、彼が事実を隠していたということがありえるのだろうか？

□ *預言者イエス*

● *この人はガリラヤのナザレから出た預言者 イエスである」*

（マタイによる福音書 / 21章 11節）

● *彼は言った，「本当にはっきりとあなた方に告げるが，自分の故郷で受け入れられた預　言者はいない。*

（ルカによる福音書 / 4章 24節）

● *よくよくあなたがたに言っておく。僕はその主人にまさるものではなく、つかわされた者はつかわした者にまさるものではない。*

（ヨハネによる福音書 / 13章 16節）

● *「ほんとうに、この人こそ世にきたるべき預言者である」*

（ヨハネによる福音書 / 6章 14節）

● *「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、…*

（ルカによる福音書 / 24章 19節）

　これらは、イエスが唯一真の神の預言者かつ使徒であることを示している、数多くの節のうちのほんの一部にすぎない。ここで再度、聖書のどこにおいても彼が神と呼ばれてはいないことを、念押ししておくことにする。

イエスについての最終的かつ重要なる情報

キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれられたのである。

（ヘブル人への手紙 / 5章 7節）

➢ ここに引用した聖書の言葉から、どのような意味合いと結論を導き出すことができるだろうか？

結 論：

以上の聖書からの言葉により、唯一の神が存在するという首尾一貫したメッセージが現れる。*「...わたしが唯一なる神である。わたしを置いて他に神はない。わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にもない。ただわたしのみ主である。わたしのほかに救う者はいない。」*（イザヤ書 / 43章 10-11節）*「あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、」*

（出エジプト記 / 20章 5節）

聖書には同様の表現が何百と見られる。一方、これらと矛盾する表現の数は わずかである。

＊ 結論に引き続く注釈を読んで頂きたい。

ここで思い起こされるテーマがある。それが、「イエスは、彼を創造し、我々を創造し、あらゆるものを創造した唯一真なる 神の預言者である」ということだ。

真実を探し求める旅が終わりに近づいたところで、考えるべき問いをいくか挙げておくことにしよう。

- 今こそ物事を正しい場所に戻すべきではないか？
- 今こそイエスをただの人として、そして唯一真の神の預言者として敬意を払われる正しい位置に置くべきではないか？
- 今こそ、手遅れになる前に（現世での生が終わる前に）、我々の唯一真の神、創造主に向かい、そして彼のみを崇拝するべきではないか？

注釈:

* 三位一体、イエスの神性、原罪、磔刑、イエスの血による救いといった、キリスト教の主な信仰内容を、（紀元５年に生まれた ）パウロが再形成したと信じる聖書学者たちが増加している。

さらに、パウロは新約聖書の４福音書以前に彼の手紙（それらは後に、パウロの信仰と教えに影響されることになるのだが）を書いたということが、広く受け入れられている。そのパウロの教えとイエスによる本来のメッセージとの相違は、今日神の性質について見られる相当なる混乱の一因となっている。*この問題の詳細については、刊行予定の小冊子（真理の探究シリーズ５）をご参照いただきたい。*

最後の思索

この小冊子を注意深く、探究心を持ち、そして心を開いて読んだ時、誠実、実直、かつ真剣なる真実の探求者は、次のような疑問を抱くことだろう。

- *では、一体何が真実なのか？*
- *真の神とは何者なのか？*
- *彼の本当のメッセージとは何なのか？*
- *どこが間違っていたのか？*

これらの質問、そしてそれ以上のことはこの小冊子のシリーズで引き続き取り上げたい。神が望むなら！

参考文献

1- The Holy Bible. King James Version.
2- Good news Bible. Today's English Version.
3- Holy Bible. New International Version.
4- Holy Bible. Revised Standard Version.
5-The Bible Library. 29 works on one CD-ROM disc. It includes 9 Bibles and 20 Biblical references. 1995 Ellis Enterprises, Inc. Oklahoma, USA.
6-The Multi-Bible CD-ROM. Innotech Multimedia, Inc. Ontario, Canada.
7- Several web sites from the Internet.
8- Information and feedback from my public lecture's audience and my Weekly TV program's viewers.

Useful web site:

- ☑ www.sultan.org
- ☑ www.al-sunnah.com

新改訳聖書刊行会翻訳『新改訳英和対照新約聖書』日本聖書刊行会、1989年
山折哲雄監修『世界宗教大事典』平凡社、1991年
eBibleJapan, http://ebible.echurch-jp.com/
JBS日本聖書協会　口語訳聖書
http://www.bible.or.jp/vers_search/vers_search.cogi
電網聖書　http://cozoh.org/denmo/
BibleGateway.　http://www.biblegateway.com//

ご意見・ご感想、および誤字脱字のご指摘は
どのようなものであっても歓迎しております。
（ただし、英語かアラビア語でお願いいたします）

詳細、質問、提案、感想等につきましては、
下記までお気軽にご連絡ください。

Dr. Naji Iblahim Al-Arfaj
Website: www.abctruth.com
E-mail: abctruth@hotmail.com
P.O.Box 418
Hofuf, Al-Ahsa 31982 KSA

探究心を持ってこの小冊子をお読みいただいた後、ご感想をお聞かせください。

著者の作品と活動

Ⅰ. 真理の探究　ステップ・バイ・ステップ　シリーズ
（学問的および比較的アプローチへ）：

近日刊行

1. **Who is He?**
2. **What is His Nature?**
3. **Just One Message!**
4. **What is the Truth?**
5. **What Went Wrong?**
6. **The Beauty of Islam!**
7. **The ABCs of Isalam !**

Ⅱ. 刊行予定の著作:

- Keys to Ultimate Success and Happiness!
- A Letter to Janet!
- Why "We"
- Why are YOU here?

Ⅲ. その他の活動:

- **A weekly TV program.(using creative PowerPoint and Internematerials).**
- TV episodes on video & audio tapes.
- Public lectures and talks.